前橋空襲と復興資料館事業年報

第　１　号

令和７年度版

前橋空襲と復興資料館

目　次

Ⅰ　施設概要

１　設立の趣旨・概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２　沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３　建築・設備概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４　職員体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

Ⅱ　展示事業

１　常設展示　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
２　展示解説　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３　イベント事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
４　連携事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

Ⅲ　収蔵資料等関係事業

１　保存・保管　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２　収集・整理　（寄贈）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
３　資料等貸出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅳ　教育普及事業

１　教育普及活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
２　刊行物の発行　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
３　広報活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

Ⅴ　利用状況

１　入館者数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
２　団体（一般・学校団体）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

Ⅰ　施設概要

１　設立の趣旨・経緯

前橋空襲と復興資料館は、令和７年戦後８０年という節目の年に、「前橋空襲の記憶を風化させない」というこれまでの市民による熱意により誕生した。戦争体験者が減少する中、体験者が語るというこれまでのあり方から「非体験者が語る公的資料館」として、「戦争の体験の記録」（資料の収集・保存）と「戦争体験の継承」（展示）の機能を持ち、「亡くなった人たちに思いをはせ、平和を続けるために、常に考える場」を目指していく。

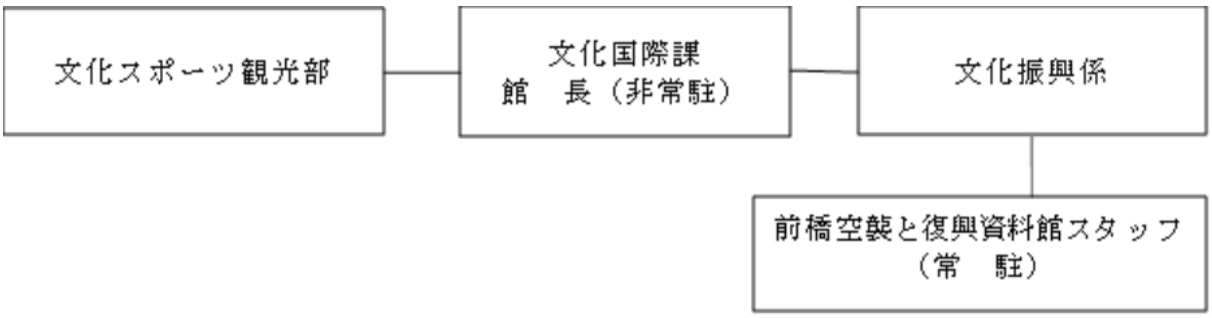
２　沿革

年　　月	で　き　ご　と
令和元年１１月	「前橋空襲を語り継ぎ、平和資料を収集展示の形の検討会」（以下、検討会という。）を発足
令和２年１２月	検討会主催による「戦後７５年前橋空襲特別展示」を前橋市立図書館にて開催
令和３年　３月	検討会が提言書を前橋市長に提出
令和４年　２月	前橋市、資料館を市民文化会館２階（旧食堂、フリースペース）に開設と発表
６月	「前橋空襲と復興資料館検討委員会」発足　展示内容などについて協議
令和６年１２月	前橋空襲と復興資料館の設備工事及び展示工事着工
令和７年　４月	前橋空襲と復興資料館が開館
７月	前橋市告示により、８月５日を「まえばし平和祈念の日」と制定
	前橋空襲と復興資料館開館記念　前橋歌舞伎舞踊公演開催
８月	ヒストリア前橋との連携により、夏休み企画「歴史探検ラリー」開催

３　建築・設備概要

名　　称	前橋空襲と復興資料館
所　在　地	前橋市南町三丁目６２番地１　昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）２階
展示室面積	１室　１７５㎡
事務室・収蔵庫面積	事務室等１室　１８．３㎡　収蔵庫１室　１６．９㎡
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨
設　　備	展示室　（「資料で見る戦争とくらし」展示室、「前橋空襲」展示室、「復興と慰霊」展示室、図書閲覧室） 事務室 収蔵庫
施工期間	令和６年１２月～令和７年３月

４　職員体制



Ⅱ　展示事業

１　常設展示

⑴ 導入展示

壁面グラフィックに、昭和１１年（１９３６）に当時の前橋市立桃井小学校６年生が書いた作文「もし前橋が空襲されたら」を展示している。

⑵ 「開館までのあゆみ」展示

「前橋空襲の記憶を風化させない」という危機意識を官民で共有しながら取り組んだ開館に至るまでの経緯を、画像と壁面グラフィックで展示解説している。

※展示画像　１点

⑶ 「資料で見る戦争とくらし」展示

戦時中に人々が使っていた物、軍事郵便、戦地のスケッチなど、「あたご歴史資料館」と「ぐんまマチダ戦争と平和資料館」から前橋市へ寄贈となった資料を中心に展示解説している。

※展示画像　３点　展示音声　１点　展示点数　１０１点（軍事郵便複製、写真パネル含む。）

⑷ 「前橋空襲」展示

前橋市が昭和３９年（１９６４）に編纂した『戦災と復興』や市民の空襲体験を収めた文集及び米国戦略爆撃調査団の公文書とその研究成果をもとに、市民の証言とアメリカの公文書という２つの視点から前橋空襲について映像や壁面グラフィック・模型などで展示解説している。

※展示映像　２点　展示点数　５点（焼夷弾模型含む。）

⑸ 「復興」展示

戦災直後の市民の自力での復興から終戦後の市政復興調査会・復興事務局設置による「応急復興」、昭和２１年（１９４６）以降の「特別都市計画」による本格的な復興が進められた昭和３９年（１９６４）までの復興の歩みを展示解説している。

※展示映像　２点　展示音声　１点

⑹ 「慰霊」展示

前橋空襲の慰霊のため、犠牲者の氏名や遺族から提供された写真等を展示解説している。

※展示画像　２点　展示点数　２点（名簿含む。）

⑺ 図書閲覧室（町田文庫）

「ぐんまマチダ戦争と平和資料館」から前橋市に寄贈された書籍を中心に約６００冊配架している。

２　展示解説

(1) スタッフによる解説

解説を希望する個人、団体に向けて適宜実施。展示内容について研修を受け、『前橋空襲と復興資料館　図録』解説に基づいて、通覧解説を実施。また、小学生に向けては前橋市内で使われている小学校６年社会科の教科書を参考に、写真カード等を用いて「子ども向け解説」を実施。来館した学校団体には入館前に、資料館の概要と利用についてのガイダンスを実施。

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	R８.１	２	３	合計
件数 （人数）	０ （０）	３ (28)	５ (45)	２ (24)	０ （０）	２ (36)	７ (163)	１ （７）	１ (13)	１ （３）	２ (34)	０ （０）	24 (353)

３　イベント事業

(1) オープニングセレモニー

■　日　時：令和７年４月２８日（月）　午前１０時～午前１０時３０分
■　会　場：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）１階ホワイエ
■　内　容：①式辞　前橋市長　小川　晶
前橋市教育長　吉川　真由美
②来賓祝辞　前橋市市議会議長　富田　公隆様
③名誉顧問委嘱　元あたご歴史資料館学芸員　原田　恒弘様
元ぐんまマチダ戦争と平和資料館代表　町田　錦一郎様
④資料館についての説明
前橋空襲と復興資料館検討委員会委員長　手島　仁様
⑤テープカット

〈当日のテープカットの様子〉



(2) 前橋空襲と復興資料館開館記念　前橋歌舞伎舞踊公演

■　日　時：令和７年７月２７日(日)　午後５時～
■　会　場：昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)大ホール
■　内　容：①橋弁慶　　松本幸四郎　市川染五郎
②昭和２０年１０月「戦災前橋復興舞踊大会」映像放映と歴史的経緯解説
前橋空襲と復興資料館検討委員会委員長　手島　仁
日本舞踊家三代目　若柳吉駒
③トークセッション
出演者　松本幸四郎(歌舞伎役者)
市川染五郎(歌舞伎役者)
小川　晶(前橋市長)
手島　仁(前橋空襲と復興資料館検討委員会委員長)
コーディネーター　葛西聖司

〈前橋歌舞伎公演のホスター・チラシ〉





〈当日の舞台の様子〉



4　連携事業

(1) 前橋空襲一斉慰霊

平成２８年(２０１６)８月５日から継続し、市内各寺院・神社・教会等で宗派を超えて、空襲で亡くなられた方の慰霊を実施。これに伴い資料館は特別開館した。

■　日　時：令和７年８月５日（火）午後４時～午後５時
■　場　所：前橋八幡宮、正幸寺、長昌寺、橋林寺、前橋カトリック教会、前橋ハリスト正教会
■　事前申し込みなし
■　参加者：１０５人

(2) 前橋空襲を語り継ぐ場バスツアー

前橋空襲一斉慰霊と連携して開催。中心市街地に残る空襲の痕跡等を前橋学市民学芸員によるガイド付きで巡るバスツアーを実施。終了後は一斉慰霊に参加。プログラムに資料館見学があり、市民学芸員が資料館の解説を行った。

■　日　時：令和７年８月５日（火）午後１時～午後５時
■　場　所：前橋空襲と復興資料館、前橋空襲爆撃照準点、教徳寺親子地蔵、前橋空襲追悼碑を巡り、各自で慰霊会場へ。
■　参加費：無料

■　申　込：先着順・定員２０人
■　参加者：１６人

⑶　紙芝居「前橋空襲と奥野とめ子さん」

前橋空襲にまつわる実話を前橋学市民学芸員の峯岸隆臣氏が紙芝居で読み聞かせた。

■　日　時：令和７年８月５日（火）午前１０時～午前１１時３０分
　　３０分間の３回講演
■　場　所：昌賢学園まえばしホール（市民文化会館）１階ロビー
■　事前申し込みなし
■　参加者：６０人
　※観覧者にアイスをプレゼント

＜ポスター・チラシ＞　＜当日の様子＞




前橋空襲を語り継ぐ場バスツアー


紙芝居


一斉慰霊（橋林寺）


一斉慰霊（前橋八幡宮）


一斉慰霊（正幸寺）

⑷　前橋駅近ミュージアム　歴史探検ラリー

ＪＲ前橋駅近くに開館した２つのミュージアム「ヒストリア前橋」と「前橋空襲と復興資料館」を巡る小中学生向け夏休み体験型イベント。２館それぞれのワークシートの回答者には、くじで景品をプレゼント。

■　期　　間：令和７年８月１日（金）～令和７年８月３１日（日）
■　参加資格：小中学生
■　参加手順：①各館の受付でワークシートを受け取る
　②ワークシートに回答
　③回答済みワークシートを受付へ提示（参加証明のハンコウを押印）
　④２館の参加証明のハンコウを集め景品のくじ引き

■　景　　品：A 賞　ヒストリア前橋オリジナルタンブラー
　　B 賞　ころとんハンドタオル
　　C 賞　ヒストリア前橋オリジナル本のしおり
　　参加賞　ヒストリア前橋：ころとんシール
　　前橋空襲と復興資料館：ころとんシールと資料館オリジナルシール

＜チラシ＞



小学校低学年～中学年	小学校高学年～中学校	参加者合計
４１人	４５人	８６人

A 賞	B 賞	C 賞	景品交換合計
４人	４人	２６人	３４人

⑸　「まえばし平和祈念の日」プレート設置

昭和２０年（１９４５）８月５日の前橋空襲による犠牲者を追悼し、市民一人一人が恒久的な平和を祈る機会とするため、８月５日を「まえばし平和祈念の日」と定め（令和７年制定）、プレートを設置した。





⑹ 「平和を考えるワークショップ」（共生社会推進課主催）

「まえばし平和祈念の日」（８月５日）から「世界平和デー」（９月２１日）までを「まえばし平和祈念月間」とし、戦争の悲惨さや平和の尊さを再確認することにより後世への継承を目指し、平和をテーマにした行事の一つとして開催。資料館では子ども向けの解説を実施した。

■　日　時：令和７年９月１３日（土）午後２時～午後４時
■　場　所：昌賢学園まえばしホール（市民文化会館）
■　対　象：小学校５年生～中学校２年生
■　参加者：２７人（小学生４人、中学生４人）

⑺ 前橋学市民学芸員養成講座（文化国際課主催）

前橋学とは、前橋の歴史と文化に立脚し、地域の諸問題を解決する地域学のことで、養成講座はその前橋学についての講座を開講し、地域づくりの担い手となる市民学芸員を養成する事業。プログラムの一つを資料館で実施した。養成講座では資料館の見学と前橋空襲体験者の講義を受け、前橋空襲一斉慰霊の場で市民学芸委員が前橋空襲について語った。

■　日　時：令和７年７月３１日（木）午後６時３０分～午後８時
■　参加者：２６人

⑻ ヒストリア前橋連携講座

「官・館・民・学」の連携により、前橋学（前橋の歴史と文化に立脚し、地域の諸問題を解決する地域学）の創造によって、地域や前橋市全体の文化力を高めることをめざす活動として、手島仁・前橋空襲と復興資料館検討委員会委員長（ヒストリア前橋名誉館長）による連携講座を開催した。全３回実施。

＜第１回＞
■　テーマ：昭和１００年を歌で振り返る（第２回）　群馬県の歌（昭和１１年）
■　講　師：解説 手島仁氏・歌指導 大友静香氏
■　日　時：令和７年７月１９日（土）午後２時～午後３時３０分
■　参加者：２０人

＜第２回＞
■　テーマ：軍事郵便を読む−戦後８０年−
■　講　師：手島仁氏
■　日　時：令和７年８月９日（土）午後２時～午後３時３０分
■　参加者：２０人

＜第３回＞
■　テーマ：昭和１００年を歌で振り返る（第３回）　復興群馬の歌（昭和２１年）
■　講　師：解説　手島仁氏・歌指導　大友静香氏
■　日　時：令和８年１月２４日（土）午後２時～午後３時３０分
■　参加者：２０人

Ⅲ　収蔵資料等関係事業

１　保存・保管

(1) 資料移動の変遷と保管場所

あたご歴史資料館寄贈資料

令和２年６月～９月	資料整理（市民学芸員、あたご歴史資料館、手島座長） ・資料カードの作成　　・目録の作成
令和２年１１月	寄贈受入れ→市立図書館で一時保管
令和２年１２月～令和３年１月	一部資料を図書館２階で展示
令和３年　２月	文化国際課所管施設へ移動、一時保管
令和４年　１月	市有施設へ移動、一時保管
令和７年１０月～令和８年２月	資料整理（資料館収蔵庫へ資料移動のため再分別、梱包）
令和８年　２月	資料館へ移動、燻蒸、収蔵庫にて保管

ぐんまマチダ戦争と平和資料館寄贈資料

令和３年　８月～１２月	寄贈に伴う資料整理 ・市民学芸員により、寄贈資料を養生及び梱包し、資料カードを分別して保管 ・市職員の目視により、寄贈資料と資料カードの番号を突き合わせ、寄贈目録を再確認
令和４年　１月	市有施設へ移動、一時保管
令和７年１０月～令和８年２月	資料整理（資料館収蔵庫へ資料移動のため再分別、梱包）
令和８年　２月	資料館へ移動、燻蒸、収蔵庫にて保管

個人による寄贈資料

令和８年２月	・開館準備中に個人から寄附を受入れた資料 ・市役所から資料館へ移動、燻蒸、収蔵庫にて保管

(2) 資料館開館準備

令和５年６月～７月	一部の資料及び資料カードを市有施設から市民文化会館旧レストランへ移動し、展示で活用する資料を選定
令和６年改修工事施工前	市民文化会館旧レストランの資料を市有施設へ移動

＜市有施設一時保管の様子＞







＜収蔵庫の様子＞







(3) 収蔵資料

①あたご歴史資料館　２，０１９点

②ぐんまマチダ戦争と平和資料館　４，３２６件

※令和８年度事業として点数の再確認を実施予定

③その他（展示用複製１４点、模型１点、「殉難者名簿」を含む。）　９７点

(4) 燻蒸

■ 目　　的：殺虫、殺卵、殺カビ処理

■ 実施機関：令和８年２月９日～令和８年２月１２日

（休館日　令和８年２月６日～令和８年２月１５日）

■ 実施場所：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化開館）敷地内

前橋市南町三丁目 62 - １

■ 燻蒸容積：トラックコンテナ内部（約１６㎥）

＜燻蒸作業の様子＞



市有施設より市民文化会館へ搬入



積載前のトラック



積載後のトラック



市文敷地内



燻蒸ガス検知器



サンプリング

２　収集・整理（寄贈）

(1) 情報提供

・図書、体験談集については情報提供として受け入れた。７点
・殉難者名簿　７件（新規３人、年齢２人、名前訂正２人）
・遺影写真　１件

(2) 寄贈

・資料寄贈の申し出、２１件
・資料の受け入れの可否について（仮）前橋空襲と復興資料館活用委員会の意見を聴くため、本年度は資料の聞き取り及び撮影のみの対応。

(3) 資料整理

資料目録データの統合、重複及び不足データを補い、データと資料カードとの整合確認を実施。未登録資料に関する資料整理の実施。収蔵資料の配架整理を併せて行った。

３　資料等貸出

(1) 写真データ提供

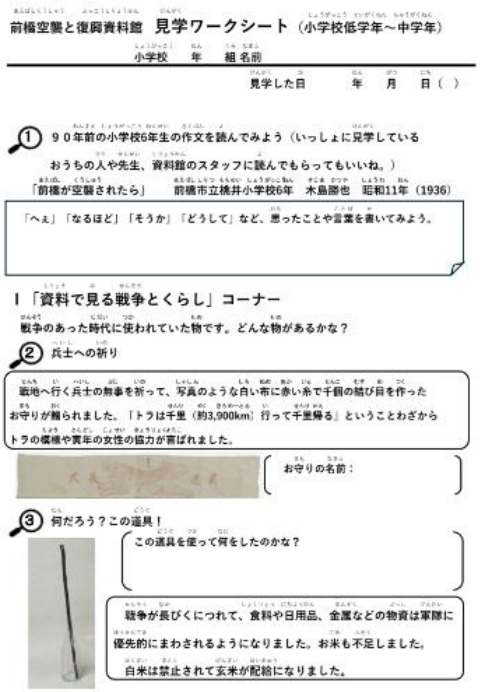
８件（民間４件、公共団体２件、市民団体２件）、提供総数２５点

Ⅳ　教育普及事業

１　教育普及活動

(1) 見学ワークシート

「小学校低学年～中学年」、「小学校高学年～中学生」の２種類を作成した。「小学校低学年～中学年」は問題数が８問、「小学校高学年～中学生」は問題数が１２問。どちらも総ルビ表記で学校団体の見学、夏休みの連携事業で活用した。



前橋空襲と復興資料館　見学ワークシート（小学校低学年～中学年）

小学校　年　組 名前

見学した日　年　月　日（ ）

① ９０年前の小学校6年生の作文を読んでみよう（いっしょに見学している おうちの人や先生、資料館のスタッフに読んでもらってもいいね。）

「前橋が空襲されたら」　前橋市立桃井小学校6年　木島勝也　昭和11年（1936）

「へえ」「なるほど」「そうか」「どうして」など、思ったことや言葉を書いてみよう。

Ⅰ「資料で見る戦争とくらし」コーナー

戦争のあった時代に使われていた物です。どんな物があるかな？

② 兵士への祈り

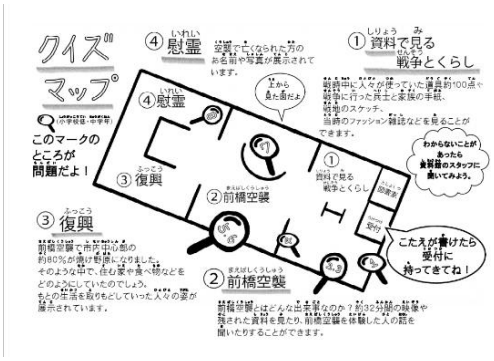
戦地へ行く兵士の無事を祈って、写真のような白い布に赤い糸で千個の結び目を作った お守りが贈られました。「トラは千里（約3,900km）行って千里帰る」ということわざから トラの模様や寅年の女性の協力が喜ばれました。

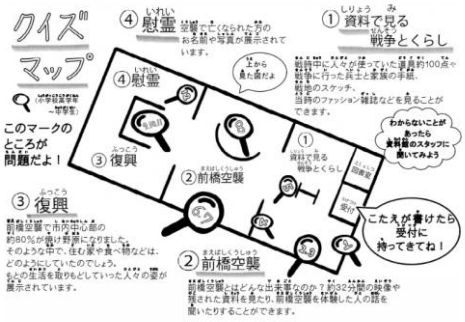
お守りの名前：

③ 何だろう？この道具！

この道具を使って何をしたのかな？

戦争が長びくにつれて、食料や日用品、金属などの物資は軍隊に 優先的にまわされるようになりました。お米も不足しました。 白米は禁止されて玄米が配給になりました。





見学ワークシート（小学校低学年～中学年　表紙）　　見学ワークシート　クイズマップ

（上：小学校低学年～中学年　下：小学校高学年～中学生）

(2) 「平和への手紙」プロジェクト

観覧した団体からの資料館に対する「感想を書けるノートがあると良い」という意見を踏まえ、来館者の感想や思いなどのやり取りができるコーナーとして設置した。子どもたちの夏休みにあわせて令和７年７月２６日から運用を開始し、資料館は「前橋空襲の記憶を伝え、そこから平和を考える資料館」を目指していることからも、ここでのやり取りが平和へ繋がるきっかけとなるよう、「平和への手紙」とした。この手紙を通して、戦争体験者と未体験者の交流の場（平和の橋渡し）としたいとの思いから、子どもたちも参加しやすいようノートではなくカード式とし、記入済みカードは資料館入口に掲示している。

月	R７．７	８	９	１０	１１	１２	R８．１	２	３	合計
利用者（人）	５	６３	２０	６	１１	８	９	０	１０	１３２

「平和への手紙」ポスター



「平和への手紙」台紙（ひまわり）



記載・掲示スペース



２　刊行物の発行

(1) パンフレット

資料館案内図、「前橋空襲の記憶を風化させないために」、「前橋空襲の被害状況」、ご案内、アクセス、お問い合わせ、を掲載したパンフレットを作成し、令和７年４月から配布。

※形態：A4 サイズ巻き三つ折り、フルカラー印刷



パンフレット（表）

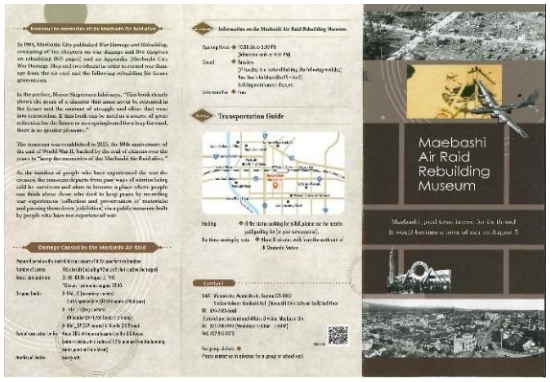


パンフレット（裏）

(2) 英語版パンフレット

通常版パンフレットの英語版を作成。令和７年１０月から配布。

※形態：A４サイズ巻き三つ折り、フルカラー印刷



英語版パンフレット（表）



英語版パンフレット（裏）

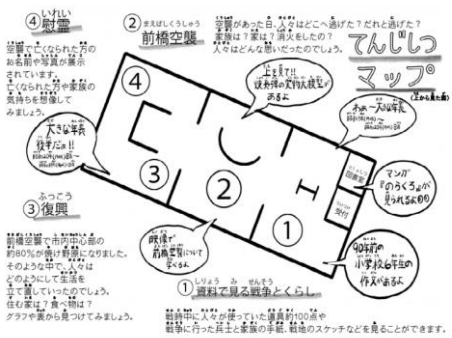
(3) だれでもパンフレット（インクルーシブパンフレット）

子どもをはじめ来館したすべての方に、展示の概要・見どころ・資料館の情報を分かりやすく解説した内容にし、総ルビ表記としたパンフレット。スタッフが手書きで作成し印刷。令和７年７月から配布。

※形態：A４サイズ巻き三つ折り、白黒印刷



だれでもパンフレット（表）



だれでもパンフレット（裏）

(4) 『前橋空襲と復興資料館　図録』

展示資料の解説文と資料図版を紹介した図録を発行、前橋市民文化会館事務所にて販売。

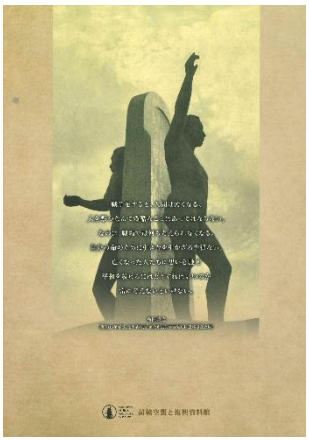
※第１章「資料でみる戦争とくらし」、第２章「前橋空襲」、第３章「復興」、第４章「慰霊」

価格：1,100 円（税込）、発行年：令和７年３月、形態：A4 判 205 頁全ページフルカラー

発行：前橋市　編集：前橋空襲と復興資料館検討委員会



図録（表）



図録（裏）

３　広報活動

(1) チラシ・ポスターによる周知

市内の各施設や展示関係機関などに配布、施設の概要やイベント等の周知を図った。

(2) Ｗｅｂ配信による周知

市ホームページ、市の公式観光サイト「前橋まるごとガイド」及び市公式ＹｏｕＴｕｂｅ等への展示・開館情報の公開によって周知を図った。

(3) ＴＶ、ラジオ、新聞、雑誌、市広報紙などによる周知

ＮＨＫ前橋放送局(出演を含む。)、群馬テレビ(出演を含む。)、エフエム群馬、Ｊ：ＣＯＭ、朝日新聞社前橋総局、教育新聞社、産経新聞前橋支局、上毛新聞本社、東京新聞前橋支局、北日本新聞社、毎日新聞社前橋支局、前橋新聞ｍｅｂｕｋｕ、読売新聞前橋支局、広報まえばし等

(4) 昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）来館者に対する周知

市民文化会館１階エントランスのイベント案内板に資料館の開館情報の表示や、ポスターを掲示し情報の周知を図った。





市民文化会館１階　階段横

(5) 学校団体利用促進広報

市教育委員会の実地調査の受け入れ（令和７年７月２３日 社会科主任研修会実施）

Ⅴ　利用状況

１　入館者数

※令和７年４月１４日（月）～令和７年４月２４日（木）６日間プレオープン
※令和８年２月６日（金）～令和８年２月１５日（日）１０日間燻蒸作業休館

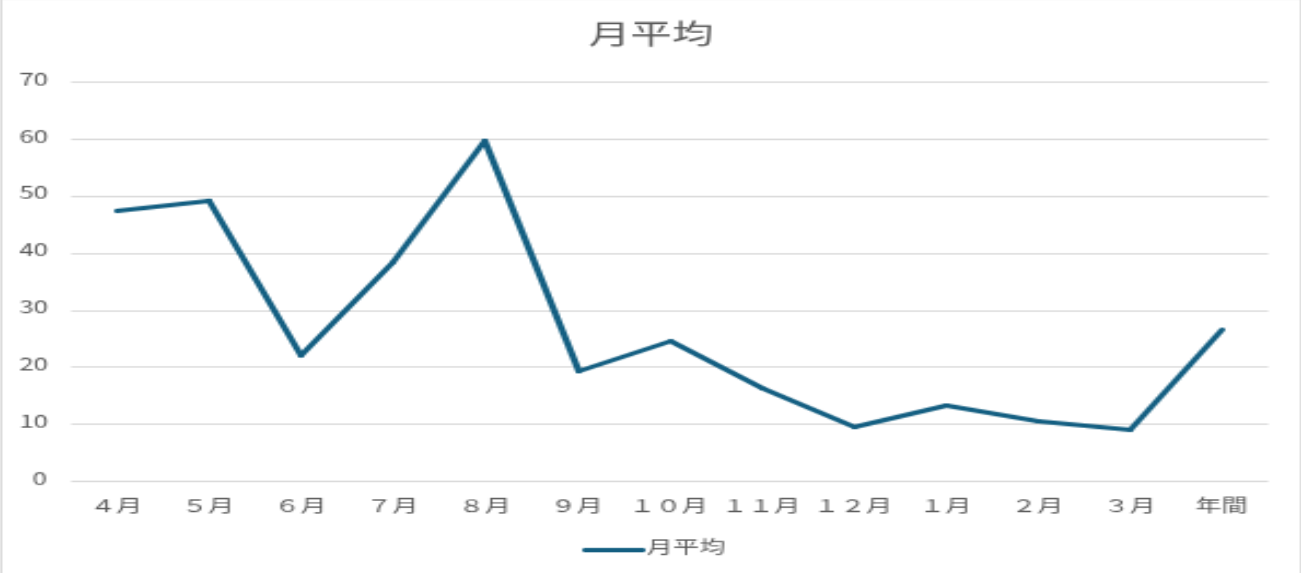
（１）月別

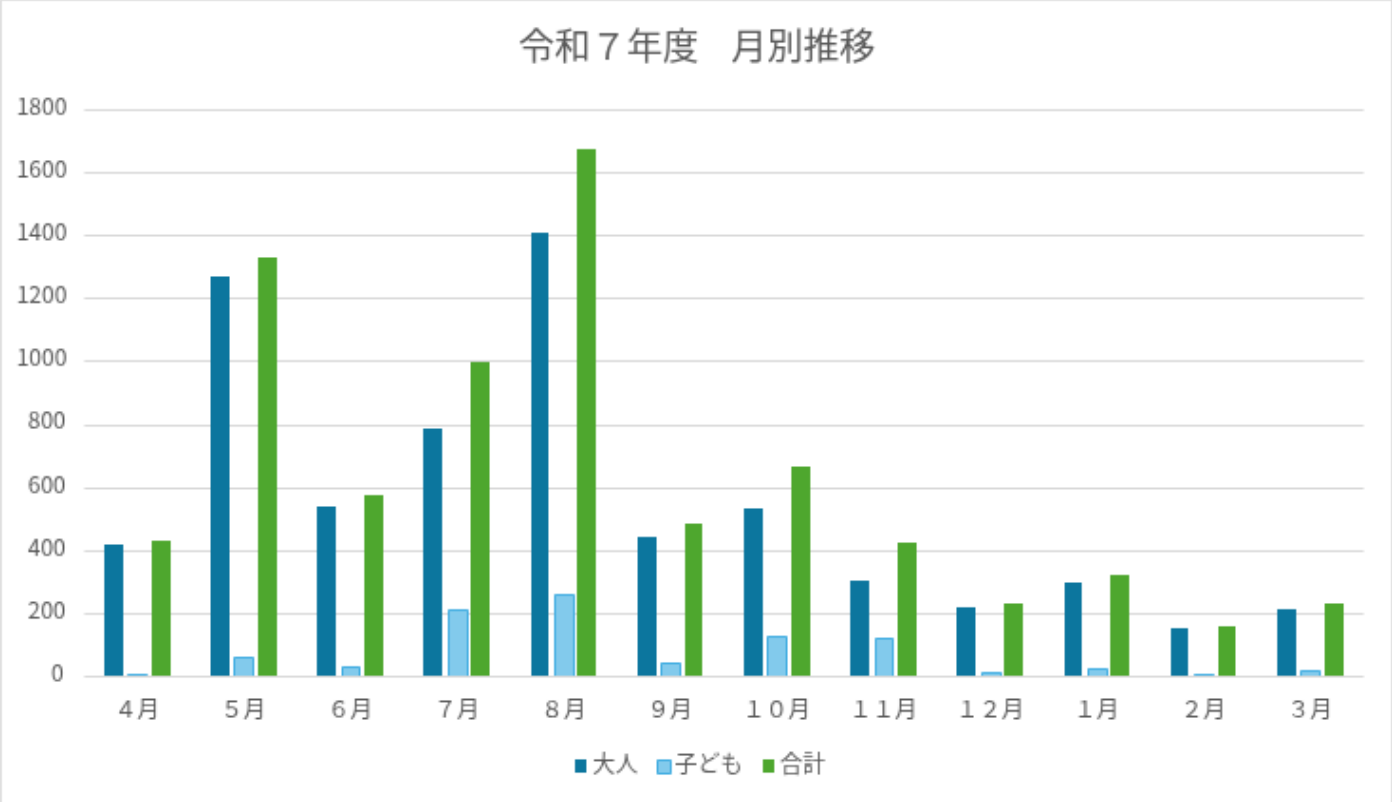
月 （開館日数）	４ （９）	５ （２７）	６ （２６）	７ （２６）	８ （２８）	９ （２５）	１０ （２７）	１１ （２６）	１２ （２４）	１ （２４）	２ （１５）	３ （２６）	計 （２８３）
大人　人数	４１８	1,270	５４０	７８６	1,408	４４２	５３５	３０２	２１７	２９９	１５１	２１３	6,581
子ども人数	９	６１	３３	２１２	２６３	４５	１３０	１２４	１２	２４	６	２０	９３９
合計　人数	４２７	1,331	５７３	９９８	1,671	４８７	６６５	４２６	２２９	３２３	１５７	２３３	7,520

※大人…高校生以上、子ども…中学生以下

(2) 月平均

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	計
開館日数	９	２７	２６	２６	２８	２５	２７	２６	２４	２４	１５	２６	２８３
入場者数	４２７	1,331	５７３	９９８	1,671	４８７	６６５	４２６	２２９	３２３	１５７	２３３	7,520
月平均人数	４７	４９	２２	３８	６０	１９	２５	１６	１０	１３	１０	９	２７





２　一般・学校団体

月（開館日数）		4（9）	5（２７）	6（２６）	7（２６）	8（２８）	9（２５）	１０（２７）	１１（２６）	１２（２４）	1（２４）	2（１５）	3（２６）	計（２８３）
一般	団体数	3	7	4	5	4	2	5	8	2	2	2	0	４４
	人数	４９	９４	５１	８０	３４	３３	１０６	４６	４１	２０	３４	0	５８８
学校	団体数	0	1	0	3	2	0	4	1	0	0	0	0	１１
	人数	0	１７	0	１４３	１０	0	１１９	９４	0	0	0	0	３８３

＜学校団体利用時の様子＞









前橋空襲と復興資料館　年報
第１号（令和７年度版）
令和８年６月１日発行
発行・編集：前橋空襲と復興資料館
〒371-0805　群馬県前橋市南町３－６２－１
TEL　０９０－２５８３－５６６８
前橋市文化国際課